
Narinki News

NARA AMT

No. 310

MAR.2020

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会

〔事務局〕〒632-8552 天理市三島町 200

〔発行責任者〕勝山 政彦 〔編集責任者〕岸森 千幸

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 (TEL) 0743-63-5611 (7439)

「チーム医療実践セミナー2019 奈良」に参加して

天理よろづ相談所病院 高橋 光一郎

2019年12月14日に開催された日臨技近畿支部研修会の「チーム医療実践セミナー2019 奈良」に参加させていただきました。今年度は、「臨床のニーズに応えられる技師を目指して」のメインテーマのもと、チーム医療と管理運営の2部制の研修会となっていました。

第1部（チーム医療）では、1人の患者さんの検査データを読みながら、病態に合わせたアプローチ方法をICT、NST、DMTの各分野で講演していただきました。ICTでは患者背景から推定される薬剤耐性菌および薬剤の選択や感染対策を重点的に話される一方、NSTでは栄養不足患者の再栄養後に起こりうるRefeeding症候群について詳しくまとめられていたり、同じ患者さんであってもアプローチ方法や考え方が異なっていてとても勉強になりました。

第2部（管理運営）では、「医療現場における新規事業計画に求められる視点」について次橋幸男先生に講演していただいた後、「検査情報室・検査説明・病棟担当技師・病棟採血等を開始するのに必要なことは？」をテーマにグループワークが行われました。講演の内容としては、「事業の価値と目標の設定」、「回るPDCAサイクルと回らないPDCAサイクル」、「一步を踏み出すための【熱】と【スキル】」という3つのテーマについて分かり易くお話していただき、現場で働く私自身も組織の一員であることをしっかりと自覚して物事を考えなければならないと実感しました。グループワークでは、KJ法を用いてカード化された多くの意見やアイデアを整序してまとめ、ディスカッションを行った後にそれぞれのグループで発表しました。私は当院にも存在する「在宅医療」のグループに所属していましたが、実際のところ漠然としたイメージしかなくあまり知識がありませんでした。しかし、在宅医療に技師が出向してどのようなことができるのか、技師が参加するにあたり技師会と連携して勉強会や研修会を開催する必要があるのではないかなど、ディスカッションを通して他の技師の方々の考えや意見などを聞いていく中で在宅医療に対して関心が深まったとともにいろいろなことを学ばせていただきました。

今回、チーム医療実践セミナーに参加させていただいて、勉強になることも多くとても良い経験になりました。その中で、講演やグループワークでも他職種と関わる際にコミュニケーションが重要となることが度々出ていましたが、今後意識して業務につきたいと思います。

2019年度日臨技・奈臨技サーベイ解説会〔専門-20〕

講師：川邊 晴樹 会員（天理よろづ相談所病院）

菊田 健太 会員（宇陀市立病院）

~~日時：2020年3月19日（木）18時30分～20時00分~~ **中止となりました**

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟5階 中会議室

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】今年度の日臨技および奈臨技サーベイでの呼吸機能・心電図の設問についての解説会を開催します。設問についてもう一度確認しながら、判断のポイントや迷った設問などを再考し、正しく理解を深めることを目指します。当日は回答された問題もご持参ください。多数のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】白土 美佳（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4221）

e-mail mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

カルバペネマーゼ産生菌と検出法について〔専門-20〕

講師：大野 裕貴 会員（天理よろづ相談所病院）

日時：2020年3月27日（金）18時30分～20時00分

会場：天理よろづ相談所病院 外来棟 5階中会議室

担当：微生物検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】今年度最後の微生物分野勉強会は、天理よろづ病院相談所病院大野会員にカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌とその検出法について、キットの評価等を含め講義をして頂きます。薬剤耐性菌について理解を深める良い機会です。是非ご参加ください。

【問い合わせ先】阿部 教行（天理よろづ相談所病院） Tel 0743- 63- 5611（8665）

e-mail abepenem@tenriyorozu.jp

令和1年度 日臨技サーベイ解説〔専門-20〕

講師：高谷 恒範 会員（県立医科大学附属病院）

日時：~~2020年4月3日（金）18時30分～20時00分~~ **中止となりました**

会場：県立医科大学附属病院 中央臨床検査部技局 スキルスラボ棟 4階

担当：神経検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】今年度サーベイ 神経機能の設問についての解説会を開催します。

判断に迷った問題などを再考し、理解を深めることを目指します。

問題をお持ちの方は是非ご持参下さい。

皆様のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】高谷 恒範（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4240）

e-mail takatani@naramed-u.ac.jp

心電図症例検討会〔専門-20〕

講師：菊田 健太 会員（宇陀市立病院）

日時：~~2020年4月10日（金）18時30分～20時00分~~ **中止となりました**

会場：県立医科大学附属病院 中央臨床検査部技局 スキルスラボ棟 4階

担当：機能検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】2020年度最初の勉強会は、心電図症例検討会です。当院で遭遇した数症例を紹介させていただきます。最終診断のない症例もあり、参加された皆様と一緒に考えてみたいと思っております。多数のご参加をお待ちしております。

【問い合わせ先】白土 美佳（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（4221）

e-mail mshiratsuchi@naramed-u.ac.jp

肝炎医療コーディネーター養成講座受講に向けてのスキルアップ研修会〔専門-20〕

講師：吉治 仁志 先生（県立医科大学 第三内科(消化器・内分泌代謝内科)教授）

赤羽 たけみ 先生（同講師） 藤原 宗典 会員（平成記念病院）

日時：2020年4月11日（土）14時00分～16時00分

会場：県立医科大学 臨床研修センター 1階

担当：臨床化学検査分野（生涯教育研修：専門-20）

会費：無料（非会員：3000円）

【要旨】肝炎の予防や早期発見、最新の治療等について、正しい知識を学ぶことで、未受診者を受検から適切な治療へつなぐことができる人材が求められている中、臨床検査技師は、肝炎医療コーディネーターとして活躍できると思われれます。肝炎医療コーディネーター養成研修を受講され、コーディネーターとして活躍されている方はもちろん、これから肝炎医療コーディネーターの資格取得を目指している方、肝炎、肝疾患に興味のある方、ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】倉田 主税（県立医科大学附属病院） Tel 0744-22-3051（1225）

e-mail ckurata@naramed-u.ac.jp

会員・施設状況（2020年2月1日現在）

[正会員数]	636名		
[新入会]	0名	[再入会]	0名
[変更]	2名	[退会]	1名

Basic Cytologyのお知らせ

2020年度も例年同様にBasic Cytologyを開催できることとなりましたので、お知らせいたします。興味のある方は制限がありませんので、会員の皆様はふるってご参加下さい。参加希望の方は各回の事前
に下記まで必ずご連絡ください（顕微鏡の台数調整や日程の変更の可能性もあるため）。

開催場所 講義：奈良県立医科大学附属病院 臨床研修センター 1階図書室
実習：奈良県立医科大学 基礎医学棟5階組織実習室

時間 13時00分～15時00分

問い合わせ先 奈良県立医科大学附属病院 病院病理部 龍見 重信
0744-22-3051（内線 4303）
E-mail : statsu@naramed-u.ac.jp

No.	日付		単元	講師
1	4月11日	講義	総論・技術	龍見
2	5月9日	講義	婦人科	倉内
3	5月23日	講義	呼吸器	浦
4	6月13日	講義	消化器(甲状腺、唾液腺、口腔含む)	龍見
5	6月20日	講義	体腔液	橘
6	7月4日	講義	尿、乳腺	小林
7	7月11日	講義	骨軟部、脳、リンパ節	安達
8	7月18日	実習	子宮頸部	浦
9	8月1日	実習	子宮体部(卵巣含む)	辻野
10	8月8日	実習	呼吸器	龍見
11	8月22日	実習	体腔液	南(高田市立)
12	9月12日	実習	消化器(甲状腺、唾液腺含む)	高橋
13	9月26日	実習	尿・乳腺	鎌倉
14	10月3日	講義	一次試験対策(筆記)	中谷(高井)
15	10月10日	講義	一次試験対策(写真)	東
16	11月7日	実習	リンパ節・脳	安達
17	11月14日	実習	スクリーニング試験対策	松岡
18	11月28日	実習	同定試験対策	安達

奈臨技標準化委員会よりお知らせ

今年の1月号でALP, LDの測定方法は来年度中にIFCC法への切り替えが求められていることをお知らせしました。その際アンケートに協力して頂きありがとうございました。奈臨技標準化委員会ではアンケートを参考に勉強会、および奈臨技としての切り替え時期を検討しています。できるだけ早期にお知らせしたいと思っております。切り替え時期については4月からIFCC法に切り替えを予定している施設があります。その際、注意して頂きたいことはIFCC法に切り替えたデータが紹介などで他施設の医師が見る場合があります。そこでIFCC法に切り替える場合には是非項目名がIFCC法に切り替わったことが分かるような表示にお願いしたいと思います。またIFCC法に切り替えていない施設でもIFCC法に切り替わったデータが他施設からくるかもしれない事を、院内にアナウンスしておいた方が良いと思います。またTSHも試薬間差解消のためIFCCの補正方法を来年度中に各キットに適応するように要請されていますのでTSHにも注意して下さい（日本臨床化学会のトップページから入れます）。

アンケートの集計結果

①日本臨床化学会ではALP,LDをIFCC法に変更するよう求めていますをご存知ですか？			
知っている		100 (%)	
知らない		0	
②ALP,LDをIFCC法に変更しますか？			
両者とも変更予定		78.6 (%)	
検討中もしくは分からない		21.4	
③変更時期予定は決まっていますか？			
変更時期決まっている		18.2 (%)	
変更時期未定		81.8	
⑤奈臨技での変更時期の統一、ご協力いただけますか？			
奈臨技に協力できる		85.7 (%)	
独自で実施		14.3	
⑥希望される時期をお答えください。			
9月		8.3 (%)	
6月		8.3	
4月		8.3	
来年3月		8.3	
夏以降		8.3	
特になし		50	
⑦IFCC法へ変更する際の対応			
特にしない		71.4 (%)	
換算値の報告		7.1	
併行測定		7.1	
無回答		14.3	
⑧IFCC法への移行に関する勉強会			
希望する		57.1 (%)	
希望しない		42.9	
⑨その他、本件に関する意見			
奈臨技として、一斉変更希望		7.1 (%)	
関係団体等に十分な周知を		7.1	
勉強会はぜひ奈良医大で		7.1	
無回答、その他		78.6	

奈臨技行事予定

3月		行事(略)	担当	3月		行事(略)	担当
1	日			17	火		
2	月			18	水		
3	火			19	木	日臨技・奈臨技サーベイ解説会	機能検査
4	水			20	金		
5	木			21	土		
6	金			22	日		
7	土			23	月		
8	日			24	火		
9	月			25	水		
10	火			26	木		
11	水			27	金	カルバペネマーゼ産生菌と検出法	微生物
12	木	第11回通常理事会		28	土		
13	金			29	日		
14	土			30	月		
15	日			31	火		
16	月						

* 行事参加される方は、奈臨技ホームページにて日程・会場等の変更の有無をご確認下さい*

* <http://naraamt.or.jp/> *

編集後記

今年の冬は、急に暖かくなったり、寒くなったりで体調管理が大変です。新型コロナウイルスの感染が、各地に広まっています。インフルエンザも流行っていますので、マスク・手洗い・うがいをしっかりして乗り切りましょう。また、奈良若草の会の第1回の会合も延期されましたが、また、日時が決まればニュースでお知らせします。奈臨技の若い会員の皆さま多くの方々の参加をお待ちしています。

広報委員 K